

写

新労発基 1128 第2号

令和5年11月28日

公共工事発注機関の長 殿

(別記10機関)

新潟労働局長

令和5年度冬季無災害運動実施要領の策定及び降積 雪期における労働災害防止対策の徹底について(要請)

労働行政の推進につきましては、平素から格段の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新潟労働局では「降積雪期における労働災害防止対策」を重点施策の一つに位置付けているところであり、降積雪期の労働災害を防止するため、この度、別紙のとおり、冬季無災害運動実施要領を策定し、冬季における現場の安全衛生管理はもとより、労働者一人ひとりに対する安全意識の啓発や安全衛生教育の実施等を推進することとしたところです。

例年、当局では、冬季特有の労働災害防止について働きかけを行っておりますが、昨冬の新潟県内の雪による労働災害(休業4日以上)の死傷者数は、240人となり前年度比3人(1.2%)の減少となりました。

特に冬季特有の転倒災害による被災者は189人と、雪による労働災害全体の約8を占めており、発生場所では「駐車場」が64人(33.9%)と最も多く、通勤時、車の乗降りの際に車周辺で転倒する災害が多発しています。

また、年齢別では50歳以上で男女とも発生率が高く、特に50歳代・60歳代の発生が顕著に多く、転倒すると重症化して休業日数が長期化している傾向となっていることや、最低気温が氷点下2度以下となると一気に転倒災害の発生リスクが高まる傾向が見られます。

つきましては、貴機関におかれましても、監督職員等関係者へ周知を行っていただくとともに、雪による労働災害防止を目的としたポスター(別添 2)及びリーフレット(別添 3)を活用の上、工事請負業者等に対して、労働災害防止対策の周知徹底等を要請します。

<添付資料>

- 別紙 冬季無災害運動実施要領
- 別添 1 令和4年度雪等による労働災害の現状
- 別添 2 ポスター「冬季無災害運動推進中」
- 別添 3 リーフレット「冬季無災害運動推進中」

(担当)
新潟労働局労働基準部健康安全課
〒950-8625
新潟市中央区美咲町1-2-1
新潟美咲合同庁舎2号館3階
TEL 025-288-3505
FAX 025-288-3516

(別記)

- 1 北陸農政局長
- 2 北陸地方整備局 企画部長
- 3 北陸地方整備局 港湾空港部長
- 4 北陸地方整備局 営繕部長
- 5 新潟県 土木部長
- 6 新潟県 農地部長
- 7 新潟県 農林水産部長
- 8 新潟県 交通政策局長
- 9 新潟県 産業労働観光部長
- 10 東日本高速道路(株) 新潟支社長

写

新労発基 1128 第3号

令和5年11月28日

労働災害防止団体の長 殿
(別記12団体)

新潟労働局長

令和5年度冬季無災害運動実施要領の策定及び降積 雪期における労働災害防止対策の徹底について(要請)

労働行政の推進につきましては、平素から格段の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新潟労働局では「降積雪期における労働災害防止対策」を重点施策の一つに位置付けているところであり、降積雪期の労働災害を防止するため、この度、別紙のとおり冬季無災害運動実施要領を策定し、冬季における現場の安全衛生管理はもとより、労働者一人ひとりに対する安全意識の啓発や安全衛生教育の実施等を推進することとしたところであります。

例年、当局では、冬季特有の労働災害防止について働きかけを行っておりますが、昨冬の新潟県内の雪による労働災害(休業4日以上)の死傷者数は、240人となり前年度比3人(1.2%)の減少となりました。

特に冬季特有の転倒災害による被災者は189人と、雪による労働災害全体の約8割を占めており、発生場所では「駐車場」が64人(33.9%)と最も多く、通勤時、車の乗降りの際に車周辺で転倒する災害が多発しています。

また、年齢別では50歳以上で男女とも発生率が高く、特に50歳代・60歳代の発生が顕著に多く、転倒すると重症化して休業日数が長期化している傾向となっていることや、最低気温が氷点下2度以下となると一気に転倒災害の発生リスクが高まる傾向が見られます。

つきましては、貴団体におかれましても、傘下会員に対して、雪による労働災害防止を目的としたポスター(別添2)及びリーフレット(別添3)を活用の上、冬季における労働災害防

止対策に万全を期すよう周知徹底を要請します。

<添付資料>

- 別紙 冬季無災害運動実施要領
- 別添 1 令和4年度雪等による労働災害の現状
- 別添 2 ポスター「冬季無災害運動推進中」
- 別添 3 リーフレット「冬季無災害運動推進中」

(担当)
新潟労働局労働基準部健康安全課
〒950-8625
新潟市中央区美咲町1-2-1
新潟美咲合同庁舎2号館3階
TEL 025-288-3505
mail kenkouanzenka-niigatkyoku@mhlw.go.jp

(別添名簿 2)

- 1 (一社)新潟県労働基準協会連合会長
- 2 建設業労働災害防止協会新潟県支部長
- 3 陸上貨物運送事業労働災害防止協会新潟県支部長
- 4 林業・木材製造業労働災害防止協会新潟県支部長
- 5 港湾貨物運送事業労働災害防止協会新潟県支部長
- 6 (一社)新潟県労働衛生医学協会 会長
- 7 (一社)日本ボイラ協会新潟支部長
- 8 (一社)日本クレーン協会新潟支部長
- 9 (公社)建設荷役車両安全技術協会新潟県支部長
- 10 (独)労働者健康福祉機構新潟産業保健総合支援センター 所長
- 11 (一社)燕西蒲労災防止協会 会長
- 12 (一社)日本労働安全衛生コンサルタント会 新潟支部長

写

新労発基 1128 第4号

令和5年11月28日

事業者団体各位

新潟労働局長

令和5年度冬季無災害運動実施要領の策定及び降積雪期における労働災害防止対策の徹底について(要請)

労働行政の推進につきましては、平素から格段の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新潟労働局では「降積雪期における労働災害防止対策」を重点施策の一つに位置付けているところであり、降積雪期の労働災害を防止するため、この度、別紙のとおり冬季無災害運動実施要領を策定し、冬季における現場の安全衛生管理はもとより、労働者一人ひとりに対する安全意識の啓発や安全衛生教育の実施等を推進することとしたところで

す。

例年、当局では、冬季特有の労働災害防止について働きかけを行っておりますが、昨冬新潟県内の雪による労働災害(休業4日以上)の死傷者数は、240人となり前年度比3人(1.2%)の減少となりました。

特に冬季特有の転倒災害による被災者は189人と、雪による労働災害全体の約8割を占めており、発生場所では「駐車場」が64人(33.9%)と最も多く、通勤時、車の乗降りの際に車周辺で転倒する災害が多発しています。

また、年齢別では50歳以上で男女とも発生率が高く、特に50歳代・60歳代の発生が顕著に多く、休業日数が長期化する傾向にあるほか、最低気温が氷点下2度以下となると転倒災害の発生リスクが一気に高まる傾向が見られます。

つきましては、貴団体におかれましても、傘下会員に対して、雪による労働災害防止を目的としたリーフレット(別添1)を活用の上、冬季における労働災害防止対策に万全を期すよう周知徹底を要請します。

<添付資料>

- 別紙 冬季無災害運動実施要領
- 別添1 令和4年度雪等による労働災害の現状
- 別添2 ポスター「冬季無災害運動推進中」
- 別添3 リーフレット「冬季無災害運動推進中」

(担当)

新潟労働局労働基準部健康安全課
〒950-8625

新潟市中央区美咲町1-2-1
新潟美咲合同庁舎2号館3階

TEL 025-288-3505

mail kenkouanzenka-niigatakyoku@mhlw.go.jp